

ブラリーがいく!



令和7年 秋にシステムが新しくなって 何ができるようになったの?

いつも図書館をご利用いただきありがとうございます。

令和7年9月中旬に図書館のシステムが新しくなりました。わかりやすくご紹介いたします。

① インターネット資料検索・
予約システムからできること

スマートフォンだけで貸出し可能

スマホに利用者カードのバーコードを表示させて資料を借りることができます。②の図書館公式 LINE のお友達になった方も同様です。



資料が探しやすくなりました

蔵書検索画面に本の表紙画像が表示され、より見やすく資料が探しやすくなりました。

貸出資料の期限延長が可能

来館しなくても、1回に限り期限の延長ができるようになりました。



② 旭川市図書館公式 LINE のお友達になると



蔵書検索 OK、貸出中の資料も確認可能



トーク画面から蔵書検索や予約もすることができます。
また、自分が借りている資料や予約した資料の確認もできます。

イベント情報も LINE で届きます



予約連絡通知だけでなく、図書館のイベント情報も LINE で届きます。
もちろん通知が多いと感じたら「通知オフ」も OK。Menu 画面のブラリーの顔も押してみてくださいね!

①と②は事前に図書館でインターネット予約の手続きが必要です (高校生以上が対象)

③ マイナンバーカードで貸出が可能になりました



[登録手続きには…]

- ・図書館の利用カードとマイナンバーカードをお持ちください。
- ・利用者証明用電子証明書パスワードと券面事項入力補助パスワード(4桁)が必要になります。

[本を借りるときは…]

- ・マイナンバーカードを専用リーダーにかざすだけ!

※マイナンバーカードの利用は中央図書館と末広・永山・東光・神楽のみ



ご不明な点がありましたら、
最寄りの図書館
にお問い合わせ
ください。

『朗読者』

ベルンハルト・シュリンク／著 新潮社

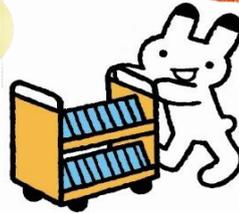
-親子ほど年の離れた女性と恋に落ちた-
15歳の主人公は、いつもせがまれるまま多くの文学作品を彼女に読み聞かせていました。しかしその幸せな時間は彼女の失踪という形で突如幕が下ろされます。数年後、傍聴した裁判の戦犯としての被告人の中に、少年時代の恋人を見つけた主人公。傍聴を続けるうち、彼女の過去や知られなかった「秘密」にも直面します。裁判が進む中主人公も逡巡し、判決後しばらくして再び彼女のために物語を読みはじめます。

年の差恋愛という関係性と、背景の戦中戦後のドイツ、特に戦後ドイツの罪の意識の問題に、彼女の「秘密」が残酷なほど物語を深くしており、戦後80年の締め括りにもお勧めする作品です。

A 司書

図書館で聞いてみた

あんな本 こんな本 冬



『あなたのすてきなところはね』

えがしらみちこ／絵 玉置永吉／作 KADOKAWA

思わず触りたくなるようなふわふわのほっぺたのなんともいえず愛らしいこどもの絵とともに、優しい言葉が続きます。たいせつな人が生まれてきてくれたこと、そして今も元気でそばにいてくれること。忙しい日常で忘れがちなことを思い出させてくれる絵本です。

「なにがあってもわすれないで。うれしいときもかなしいときも しっばいしちゃって たちどまっても、あなたは とってもすてきなひと。」

こどもの頃にかけてもらいたかった温かい言葉、優しいまなざしが詰まっているようで、読んでいると励まされ、癒されます。世代を問わず、読む人の心にしみわたるような絵本だと思います。

T 司書



気になる本があれば
お気軽にお問合せ
ください！

『貸出禁止の本をすくえ！』 アラン・グラッツ／作 ほるぷ出版

エイミー・アン、9歳。家ではわがままな妹がやりたい放題でうんざり、落ち着くのは学校図書館にいるときだけ。そんな安息地である図書館の棚から、大好きな物語の本が消えて貸出禁止になってしまいます。PTAの指摘では「子どもにふさわしくない」ということ、エイミーにとって何より大切な1冊なのに……。シャイで言いたいことも飲み込んでしまうエイミーが勇気を持って行動を起こします。「ロッカー図書館」運動を通じてエイミーが大きく成長していく姿に感動します。実際にアメリカで貸出禁止措置になった物語も紹介されていて興味深いです。

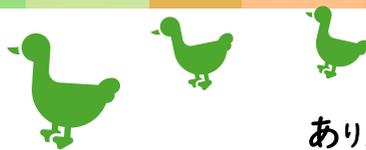
N 司書



い め く

Imek

—文化の分け前—



ありえないほど美味しい? お菓子の話

昨年 6 月に開催された「お菓子博覧会」にはお出かけになりましたか? 私は 2 回行って展示や実演など楽しんできましたが、一番楽しんだのは販売コーナーでした。「赤福」などの有名なお菓子はもちろんですが、全く知らないお菓子にも「どんな(美味しい)味のお菓子だろう」とついつい手が伸びてしまい、後悔はしていませんが相当な浪費もしてしまいました。

大学生時代、東中欧の留学生から土産物としていただいたものの中に「鳥のミルク」という名前のお菓子がありました。調べてみると、東中欧に分布しているお菓子。共通しているのは、柔らかいメレンゲ生地もしくはクリームを挟んだスフレ生地にチョコレートがコーティングされたもの。いろいろな形状のものがあり、ホールケーキのような形のものもあれば、カップ型、一口サイズのもが無造作に箱に入ったものや、個包装されているものなどもありました。

鳥は哺乳類ではないので「ミルク」は持っていません。では、「鳥のミルク」とは何かと言うと「この世に存在しないもの」「ありえないもの」の意味で、転じて「ありえないほど(美味しい)お菓子」ということなのだそう。しかし、お土産を持ってきてくれた留学生たちには申し訳ない話なのですが、国やメーカーによってその味はさまざまで、奪い合いになるほど美味しいものから、ふた口めを躊躇するものまで。どこの国のどのメーカーのものが一番美味しいかを作表する者があらわれるほどでした(その結果はお伝えしません…)

「鳥のミルク」は起源民話とされる話もある慣用句で、美しいお姫様が求婚してくる男たちに、ぜいたく品である「鳥のミルク」を持ってきてくれたらあなたと結婚しましょうと答えたため、「ありえないもの」の意味となったというもの。

どうやら東中欧にも、かぐや姫がいたようです。



「ハラマキにゃんこ」の愛読ありがとうございました!!

嗚呼...ハラマキにゃんこよ、明日はどここの図書館へ!